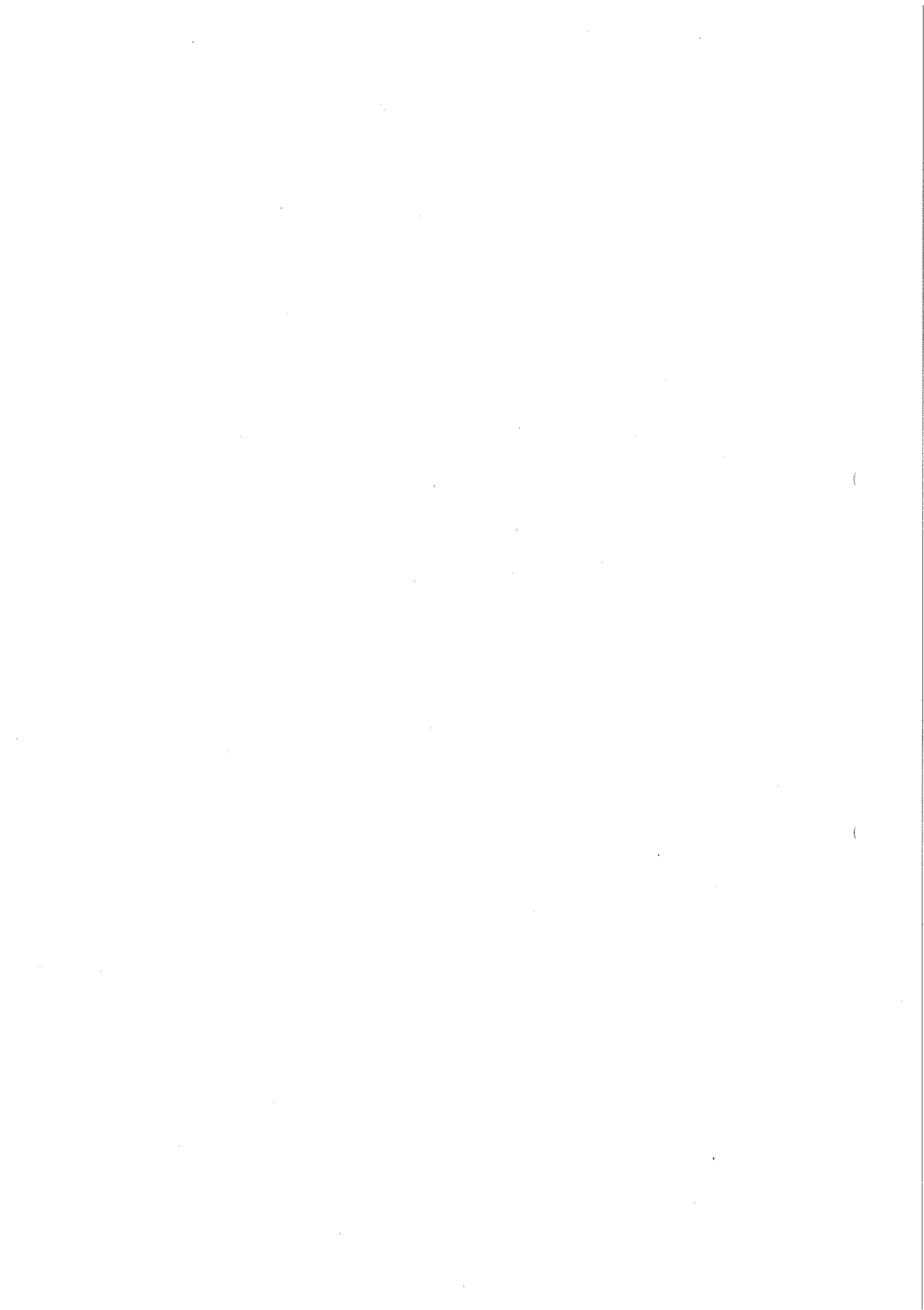


## 議題Ⅱ 水道事業の実施計画について



宇治市地域水道ビジョン  
第1次事業実施計画

総括

平成26年3月

宇治市上下水道部

## 1. 策定の目的

平成22年3月に「宇治市地域水道ビジョン」（以下、「水道ビジョン」という。）を策定し、今後10年間の水道事業の総合的な指針を定めました。

この事業実施計画は水道ビジョンの基本施策を実現するための具体的な取組みを定めたもので、事業の目標、内容、取組予定を具体化し、事業執行の財政見通しを立てた上で、実施計画に基づき事業を着実に実行することにより、水道ビジョンの着実な実現を目指すものです。

実施に当たっては3カ年毎の計画とし、平成23年度～25年度までを第1次、平成26年度～平成28年度までを第2次、平成29年度～31年度までを第3次事業計画とし策定するものとします。

## 2. 第1次事業実施計画の評価

平成23年2月に策定した第1次事業実施計画の進捗、成果等を検証し、事業ごとの評価を行いました。

今後は、この評価を基に適宜内容を見直し、第2次事業実施計画を策定する予定です。



平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
<b>宇治市地域水道ビジョン目標年次</b>									
<b>第1次 事業実施計画</b>				<b>第2次 事業実施計画</b>			<b>第3次 事業実施計画</b>		

### 3. 事業実施計画

#### 基本目標 2-1 水運用の安定

#### 基本施策 2-1-3 水道施設の再編成

事業・取組	2-1-3-1 浄水場統廃合事業			
内 容	老朽化した神明、奥広野浄水場を統廃合し、自己水源の効率的な水運用を図るため浄水場運転経費の節減、エネルギーの有効活用を念頭に他の浄水場もあわせた浄水場運転の総合的な検討をします。			
スケジュール(計画)	H23	H24	H25	H26～H31
浄水場総合検討案策定	→			
スケジュール(実施)	H23	H24	H25	H26～H31
浄水場総合検討案策定	→			
事業費	18,000千円 → 1,961千円(見込)			
備考	配水ブロック再編事業とあわせて業務委託発注			
評価	<p>「浄水場の統廃合」「配水池の再編」「配水ブロック再編」の各事業は、水道施設の再編成として、将来の水需要に見合った施設の規模、配置を再考するための準備作業等を進めており、平成25年度には、浄水場の統廃合の取りまとめを行いました。</p> <p>平成26年度からの第2次事業実施計画では、新たな浄水施設整備の検討を行う予定です。</p>			



事業・取組	2-1-3-2 配水池再編整備事業			
内 容	将来の水需要に見合った配水池再編を行い、水運用の安定、施設管理の効率化、災害時の貯留水確保について検討を重ねながら適正な施設規模の配水池再編について検討します。			
スケジュール(計画)	H23	H24	H25	H26～H31
配水池再編整備検討				
スケジュール(実施)	H23	H24	H25	H26～H31
配水池再編整備検討				
事業費	12,000千円 → 8,311千円(見込)			
備 考	配水ブロック再編事業とあわせて業務委託発注			
評 価	<p>「浄水場の統廃合」「配水池の再編」「配水ブロック再編」の各事業は、水道施設の再編成として、将来の水需要に見合った施設の規模、配置を再考するための準備作業等を進めており、平成25年度には、配水池の再編の取りまとめを行いました。</p> <p>平成26年度からの第2次事業実施計画では、優先順位が高い配水池から耐震診断を行い、更新手法の検討を行う予定です。</p> <p>また、老朽化が進んでいた天ヶ瀬配水池は、送配水ルートを見直すことで不要となったため、平成25年度末で廃止します。</p>			

事業・取組	2-1-3-4 主要配水池耐震化等整備事業			
内 容	配水池再編の検討を踏まえて、主要配水池（五ヶ庄、高峰山、折居台、下居・琵琶、東山）の耐震診断を実施し、計画的な耐震化を進めます。			
スケジュール(計画)	H23	H24	H25	H26～H31
耐震詳細診断	→			
耐震実施設計		→	→	→
耐震補強工事			→	→
スケジュール(実施)	H23	H24	H25	H26～H31
耐震詳細診断	→			
耐震実施設計		→	→	→
耐震補強工事				→
事業費	83,000千円 → 17,382千円(見込)			
備 考				
評 価	<p>平成23年度に、主要配水池（五ヶ庄、高峰山、折居台、下居・琵琶、東山）の耐震診断を行った結果、レベル2地震動ではすべての配水池で補強が必要となりました。</p> <p>平成24年度から平成25年度にかけて、配水池の再編検討や耐震補強工事中の水運用等府営水道との協議も踏まえ、琵琶配水池の耐震実施設計を行いました。</p> <p>平成26年度からの第2次事業実施計画では、琵琶配水池の耐震補強工事から行う予定です。</p>			

事業・取組	2-1-3-5 配水ブロック再編事業			
内容	平常時における水量・水圧の安定と災害時における給水の相互運用が図れる配水ブロック計画を策定し、再編に必要な管網を整備します。			
スケジュール(計画)	H23	H24	H25	H26～H31
再編検討業務	→			
管網整備基本設計			→	
管網整備実施設計				→
スケジュール(実施)	H23	H24	H25	H26～H31
再編検討業務	→			
管網整備基本設計			→	
管網整備実施設計				→
事業費	23,000千円 → 16,322千円(見込)			
備考	浄水場の統廃合、配水池の再編とあわせて業務委託発注			
評価	<p>「浄水場の統廃合」「配水池の再編」「配水ブロック再編」の各事業は、水道施設の再編成として、将来の水需要に見合った施設の規模、配置を再考するための準備作業等を進めており、平成25年度には、配水区域の見直しを行いました。</p> <p>平成26年度からの第2次事業実施計画では、配水区域の見直しに伴う管網整備の検討を行います。管網の整備については、管路の更新・耐震化と合わせて行う必要があることから、優先順位の高い管路から行う予定です。</p>			







基本施策 2-1-4 簡易水道・飲料水供給事業の統合

事業・取組	2-1-4-1 笠取簡易水道統合整備事業			
内容	笠取簡易水道区域へ安定的に水を供給するため、上水道の施設を接続し、平成 26 年度を目標に上水道事業に統合します。			
スケジュール(計画)	H23	H24	H25	H26～H31
上水道接続工事				
スケジュール(実施)	H23	H24	H25	H26～H31
上水道接続工事				
事業費	760,000千円 → 990,451千円(見込)			
備考	平成22年度からの事業費			
評価	平成 22 年度より、上水道へ統合するための整備事業に取り組んでいます。上水道施設から簡易水道施設へ連絡するための送水施設の新設や一部能力の不足する施設については改良及び更新を行っており、平成 26 年度末に事業を完了する予定です。			





基本施策 2-1-5 基幹施設の更新

事業・取組	2-1-5-1 宇治浄水場施設整備事業			
内容	宇治浄水場の取水能力向上のため取水井戸を更新します。 耐震二次診断の結果に基づいて施設（脱炭酸槽）の耐震補強を進めます。			
スケジュール(計画)	H23	H24	H25	H26~H31
取水井戸更新工事	→			
耐震補強実施設計		→		→
耐震補強工事			→	→
スケジュール(実施)	H23	H24	H25	H26~H31
取水井戸更新工事	→			
更新・耐震基本計画			→	→
耐震補強実施設計				→
耐震補強工事				→
事業費	81,000千円 → 48,716千円(見込)			
備考				
評価	<p>平成23年度から2号取水井戸の更新工事を行い、取水能力の向上を図りました。</p> <p>また、宇治浄水場を稼働させながら、限定された敷地のなかで、施設の耐震補強工事等を計画的かつ効率的に行うため、平成25年度から宇治浄水場の更新・耐震基本計画策定を行っています。</p> <p>平成26年度からの第2次事業実施計画では、この基本計画を基に宇治浄水場の施設整備を行う予定です。</p>			

基本施策 2-1-6 老朽管路の更新

事業・取組	2-1-6-1 老朽管更新・耐震化事業			
内容	石綿セメント管と铸铁管の布設替えを進め、水道ビジョン目標年次に石綿セメント管の更新を完了します。			
スケジュール(計画)	H23	H24	H25	H26～H31
老朽管路布設替工事				
スケジュール(実施)	H23	H24	H25	H26～H31
老朽管路布設替工事				
事業費	585,000千円 → 928,500千円(見込)			
備考				
評価	<p>老朽管の更新については、下水道工事に伴う移設工事や改良工事等で耐震管に布設替えするものとし、石綿セメント管や铸铁管等老朽管の更新を積極的に進めてきました。特に石綿セメント管は、強度が低く漏水が頻発していることから、水道ビジョン目標年次である平成31年度までに布設替えを完了する予定ですが、可能な限り早期に解消したいと考えています。</p>			

基本施策 2-1-7 鉛製給水管の解消

事業・取組	2-1-7-1 鉛製給水管解消事業			
内容	移設、改良、修繕工事で鉛製給水管の布設替を進めるとともに、他工事にあわせた布設替を行います。			
スケジュール(計画)	H23	H24	H25	H26~H31
鉛製給水管布設替				
スケジュール(実施)	H23	H24	H25	H26~H31
鉛製給水管布設替				
事業費	44,000千円 → 323,500千円(見込)			
備考	本管改良に伴う鉛製給水管布設替えも含む			
評価	鉛製給水管については、漏水が多く発生していることから、布設替えを行っており、平成26年度からの第2次事業実施計画でも、引き続き、鉛製給水管の布設替えを行う予定です。			

基本目標 2-2 災害対策の充実

基本施策 2-2-1 管路情報の管理

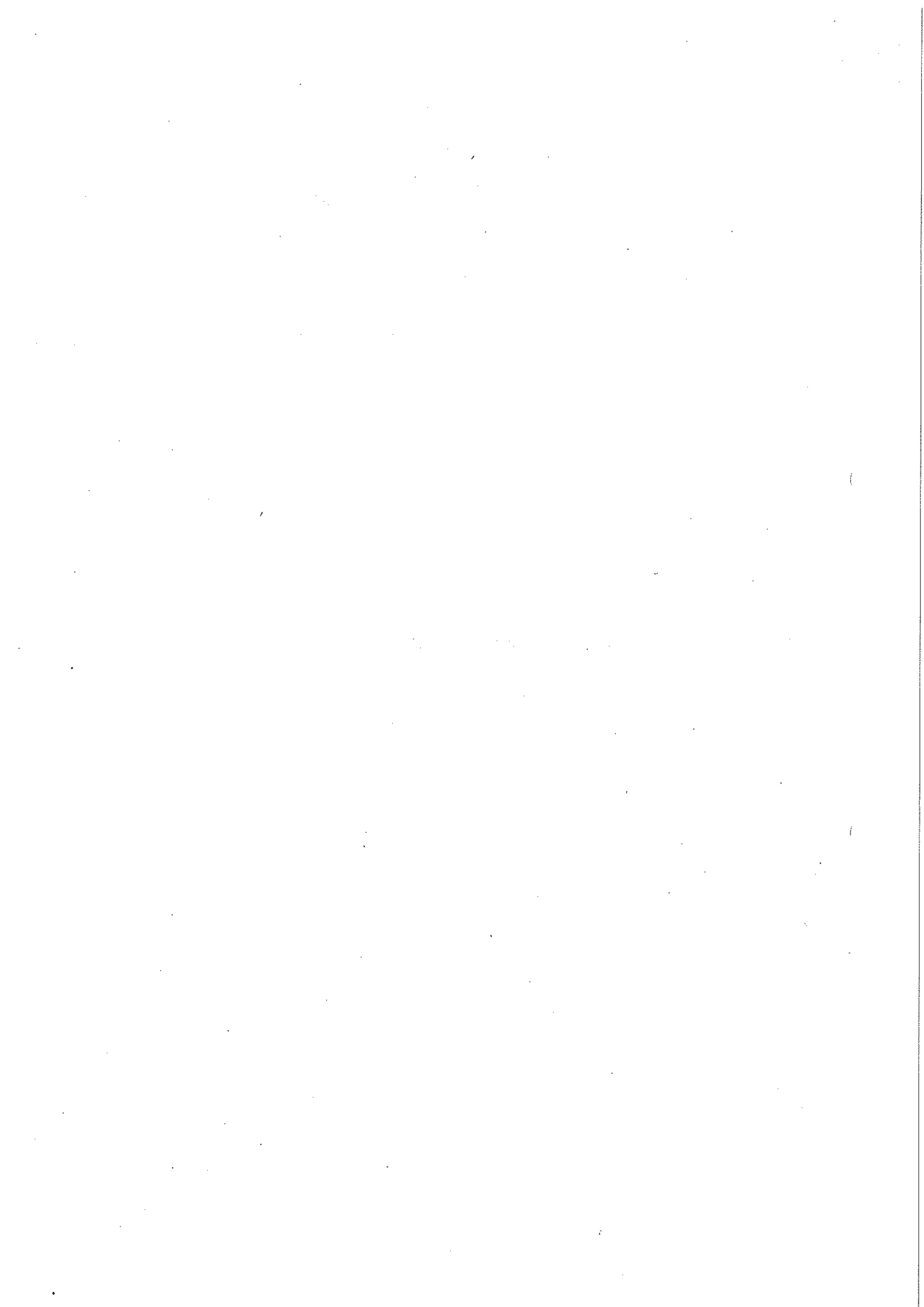
事業・取組	2-2-1-1 マッピングシステム高度利用			
内容	災害時の復旧にも活用できるようにマッピングシステムを充実させ、管網評価支援システムを構築します。			
スケジュール(計画)	H23	H24	H25	H26～H31
復旧支援用カスタマイズ 管網評価支援システム構築				
スケジュール(実施)	H23	H24	H25	H26～H31
マッピングシステム更新				
事業費	10,200千円 → 11,970千円(見込)			
備考				
評価	<p>これまでマッピングシステムを利用して、管路破損事故時の断水範囲や戸数の特定及び濁水範囲の想定等緊急時の復旧活動を円滑に進めるため活用してきました。</p> <p>平成25年度に行ったシステムの更新に伴い、システム能力をさらに向上させ、配水区域の検討や水道管の整備計画等にも活用したいと考えています。</p>			

基本施策 2-2-2 水道施設の耐震化

事業・取組	2-2-2-1 水道施設更新・耐震化事業			
内容	<p>災害時のバックアップ機能を強化するため、森本ポンプ場の施設整備について検討します。</p> <p>耐震診断で補強が必要と判定された森本ポンプ場建物の耐震補強工事を行います。</p>			
スケジュール(計画)	H23	H24	H25	H26~H31
ポンプ場整備検討	→			
更新耐震化実施設計		→		
更新耐震化工事			→	
スケジュール(実施)	H23	H24	H25	H26~H31
ポンプ場整備検討	→			
更新耐震化実施設計		→		
更新耐震化工事			→	
事業費	42,000千円 → 491千円(千円)			
備考				
評価	<p>森本ポンプ場の施設能力について、これまでの送水実績から災害時のバックアップシミュレーションを行い検討した結果、現状の施設能力でも対応が可能であることがわかりました。また、耐震診断で補強が必要とされた森本ポンプ場建屋の耐震補強工事を行いました。</p>			

基本施策 2-2-3 水道管路の耐震化

事業・取組	2-2-3-1 水道管路耐震化事業			
内容	地震等災害時にも被害を最小限に食い止め、一定量の給水を可能にする配水ルート選定し、連絡管の整備を進めます。 管径75mm以上の管路に耐震管を採用し、耐震化を進めます。			
スケジュール(計画)	H23	H24	H25	H26～H31
配水ルート整備案策定	→			
連絡管整備設計・工事		→		→
スケジュール(実施)	H23	H24	H25	H26～H31
配水ルート整備案策定				→
連絡管整備設計・工事	→			→
事業費	75,000千円 → 30,493千円(見込)			
備考	配水ブロックの見直しとあわせて検討			
評価	平成23年度より、広野町配水池水系拡大のため、新宇治淀線送配水管布設工事を行っており、次年度以降も引き続き行う予定です。 平成26年度からの第2次事業実施計画での水道管路の耐震化は、配水ブロック再編事業の管網整備とあわせて行う計画としており、優先順位の高い基幹管路から耐震化を行う予定です。			





宇治市地域水道ビジョン  
第2次事業実施計画

平成26年3月

宇治市上下水道部

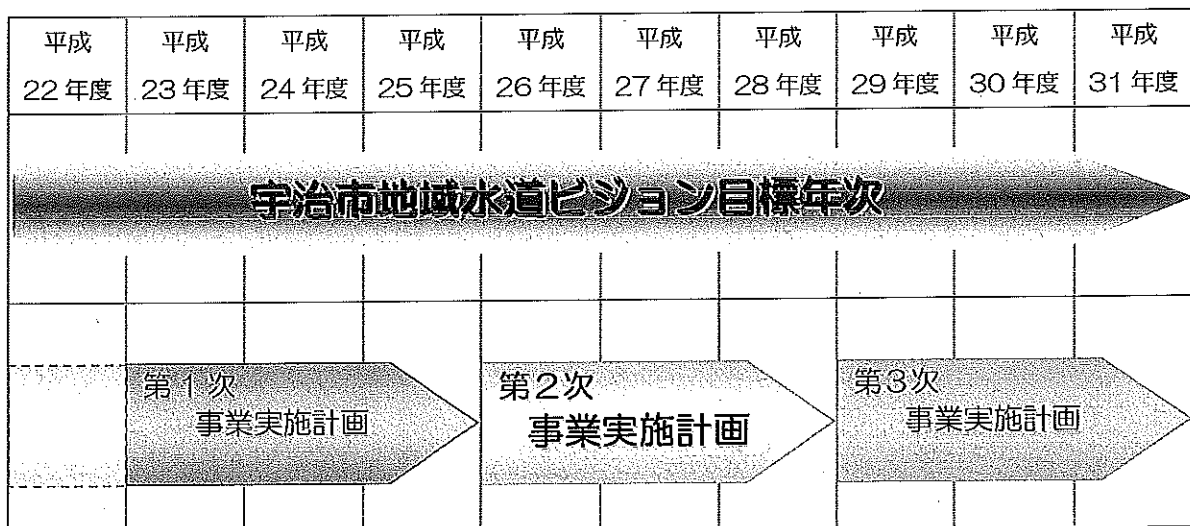
## 1. 策定の目的

平成22年3月に「宇治市地域水道ビジョン」（以下、「水道ビジョン」という。）を策定し、今後10年間の水道事業の総合的な指針を定めました。この事業実施計画は水道ビジョンの基本施策を実現するための具体的な取組みを定めたもので、事業の目標、内容、取組予定を具体化し、事業執行の財政見通しを立てた上で、実施計画に基づき事業を着実に実行することにより、水道ビジョンの着実な実現を目指すものです。

実施に当たっては3ヵ年毎の計画とし、平成23年度～25年度までを第1次、平成26年度～平成28年度までを第2次、平成29年度～31年度までを第3次事業計画とし策定するものとします。

## 2. 第2次事業実施計画

平成23年度～平成25年度までの第1次事業実施計画で取り組んだ施策の進捗、事業の成果等を検証し、第2次事業実施計画を策定しました。



### 3. 事業実施計画




#### 基本目標 2-1 水運用の安定

#### 基本施策 2-1-3 水道施設の再編成



事業・取組	2-1-3-1 浄水場統廃合事業			
内容	老朽化した神明、奥広野浄水場を統廃合し、新たな浄水施設整備のための水源調査や設計業務等を行います。			
スケジュール	H26	H27	H28	H29～H31
基本設計	→			
事業認可変更		→		
実施設計			→	→
事業費	57,000千円			
備考				

事業・取組	2-1-3-5 配水ブロック再編事業			
内容	平常時における水量・水圧の安定と災害時における給水の相互運用を図るために、設定した配水区域に伴う管網整備の検討を行います。 管網の整備については、管路の更新・耐震化とあわせて行う必要があり、優先順位高い管路から行います。			
スケジュール	H26	H27	H28	H29～H31
管網整備検討業務	→			→
事業費	10,000千円			
備考				



基本施策 2-1-5 基幹施設の更新

事業・取組	2-1-5-1 宇治浄水場施設整備事業			
内容	耐震二次診断で補強が必要とされた施設や電気、機械設備、場内配管等について整備を進めます。			
スケジュール	H26	H27	H28	H29～H31
更新・耐震基本計画				
更新・耐震設計・工事				
事業費	60,000千円			
備考	第2次計画から耐震化工事を進め、第3次計画で宇治浄水場の浄水施設の耐震化完了を目指します。			



基本施策 2-1-6 老朽管路の更新



事業・取組	2-1-6-1 老朽管更新・耐震化事業			
内容	下水道工事に伴う移設や改良工事で、石綿セメント管や铸铁管等老朽管の更新・耐震化を積極的に進め、水道ビジョン目標年次内に石綿セメント管の更新を完了します。			
スケジュール	H26	H27	H28	H29～H31
老朽管路布設替工事				
事業費	750,000千円			
備考	第2次計画では、石綿セメント管の更新延長を3kmとし、管路の耐震適合率を25%まで向上させることを目標とします。			

基本施策 2-1-7 鉛製給水管の解消




事業・取組	2-1-7-1 鉛製給水管解消事業			
内容	移設、改良、修繕工事で鉛製給水管の布設替を進めるとともに、他工事にあわせた布設替を行います。			
スケジュール	H26	H27	H28	H29～H31
鉛製給水管布設替				
事業費	300,000千円			
備考	第2次計画では、布設替え件数を年間1,000件とします。			

基本施策 2-2-2 水道施設の耐震化

事業・取組	2-2-2-1 主要配水池耐震化等整備事業			
内容	配水池の再編検討を踏まえて、主要配水池（五ヶ庄、高峰山、折居台、下居・琵琶、東山、広野町）の計画的な耐震化を進めます。			
スケジュール	H26	H27	H28	H29～H31
耐震詳細診断 更新・耐震整備設計・工事				
事業費	508,000千円			
備考	水道施設の再編成 → 水道施設の耐震化へ施策の変更 第2次計画では、配水池の耐震化率を20%まで向上させることを目標とします。			

事業・取組	2-2-2-2 水道施設更新・耐震化事業			
内容	水道施設の耐震化は、配水ブロック再編事業と合わせて行う計画としており、優先順位の高い施設から整備を進めます。 なお、第2次事業実施計画期間については、上記の2-2-2-1 主要配水池耐震化等整備事業を優先的に進めます。			
スケジュール	H26	H27	H28	H29～H31
耐震詳細診断 更新・耐震整備設計・工事				
事業費	508,000千円（再掲）			
備考				

基本施策 2-2-3 水道管路の耐震化

事業・取組	2-2-3-1 基幹管路耐震化事業			
内容	<p>地震等災害時にも被害を最小限に食い止め、一定量の給水を可能にする配水ルートを選定し、連絡管の整備を進めます。</p> <p>管路の耐震化は、配水ブロック再編事業の管網整備と合わせて行う計画としており、優先順位の高い基幹管路から整備を進めます。</p>			
スケジュール	H26	H27	H28	H29～H31
基幹管路整備案検討				
基幹管路整備設計・工事				
事業費	120,000千円			
備考	第2次計画では、基幹管路の耐震適合率を23%まで向上させることを目標とします。			